

中高生を対象とした「月経パスポート」導入案

-学生の生理休暇導入に向けて-

同志社大学政策学部川口ゼミ1班

棚原ひびき 進藤絢世 黄因梓

目次

1. 問題意識
2. 現状分析
3. 課題
4. アンケート結果
5. 政策提言

1. 問題意識

テストの日に生理
来て欲しくないなあ

男性の先生に話しに
くくて休みづらい

私たちの周りで多い声

生理痛でおなかが痛くて
出席するのがしんどい

■女性のみ

Q 生理に関連する身体的・精神的な不調や負担、日常の不便について伺います。
以下のうち、あなたが一度でも経験したことがあるものを全て選択してください。

(複数回答) (n=500)

誰に対して？

指導的立場にある大人 (計) 17.6%

学校の男性の友人・同級生・先輩 (計) 10.2%

学校の女性の友人・同級生・先輩 (計) 8.0%

職場の男性の上司・先輩・同僚 (計) 4.6%

職場の女性の上司・先輩・同僚 (計) 4.0%

何を感じた？

生理による不調などを伝えられなかった (計) 16.2%

生理による不調などを理解・共感していないように感じた (計) 15.2%

生理を口実にサボっていると疑われた、または疑われていると感じた (計) 9.2%

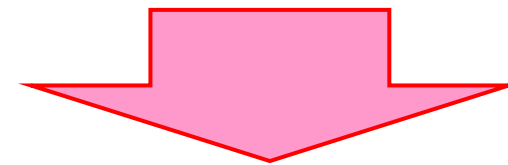
生理による不調を我慢するように言われた (計) 4.8%

体調管理ができていないと言われた (計) 4.4%

社会人の女性は…

労働基準法第68条

「使用者は、生理日の就業が著しく困難な女性が
休暇を請求した時は、その者を生理日に就業させてはな
らない」



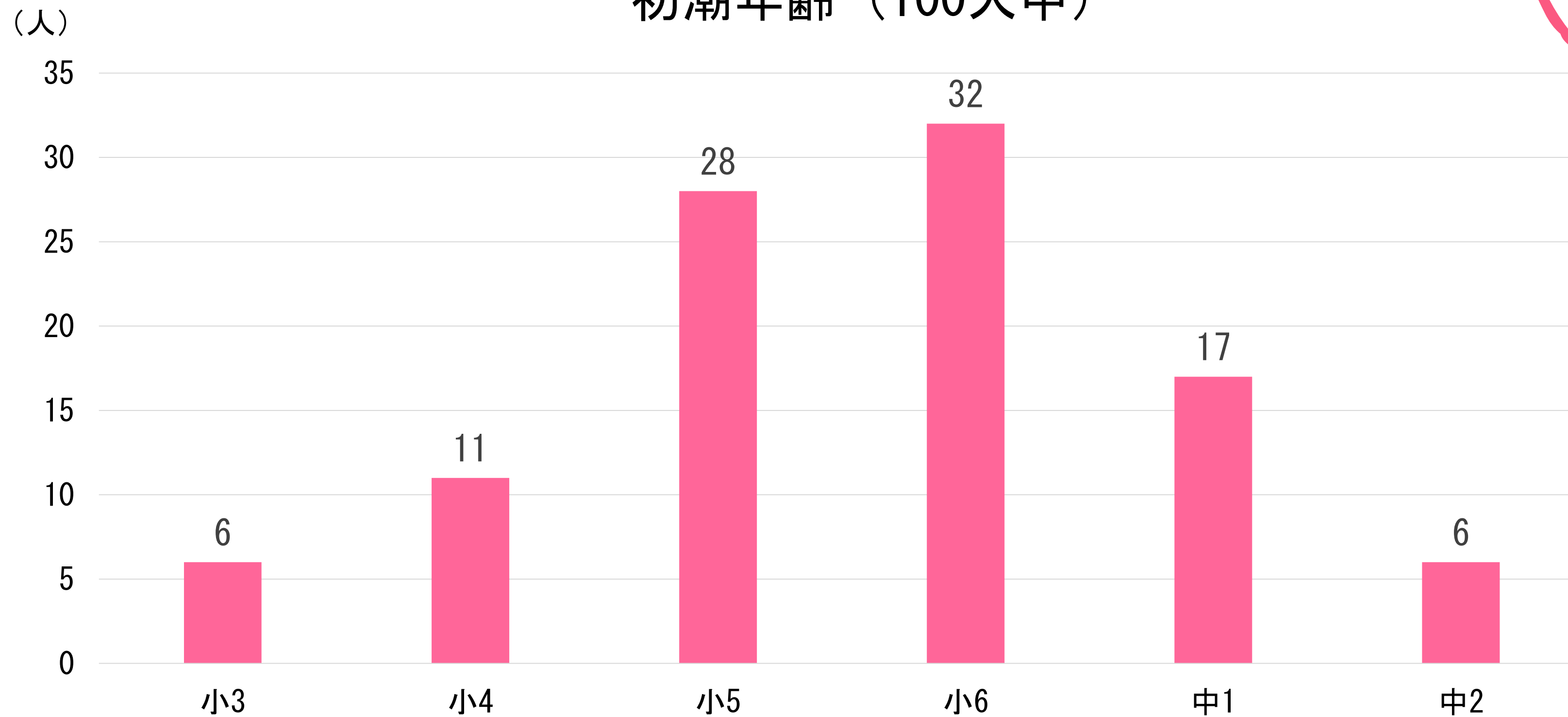
小学生から大学生（生徒・学生）にはその権利はない



生理が原因では学校を休むことができない？

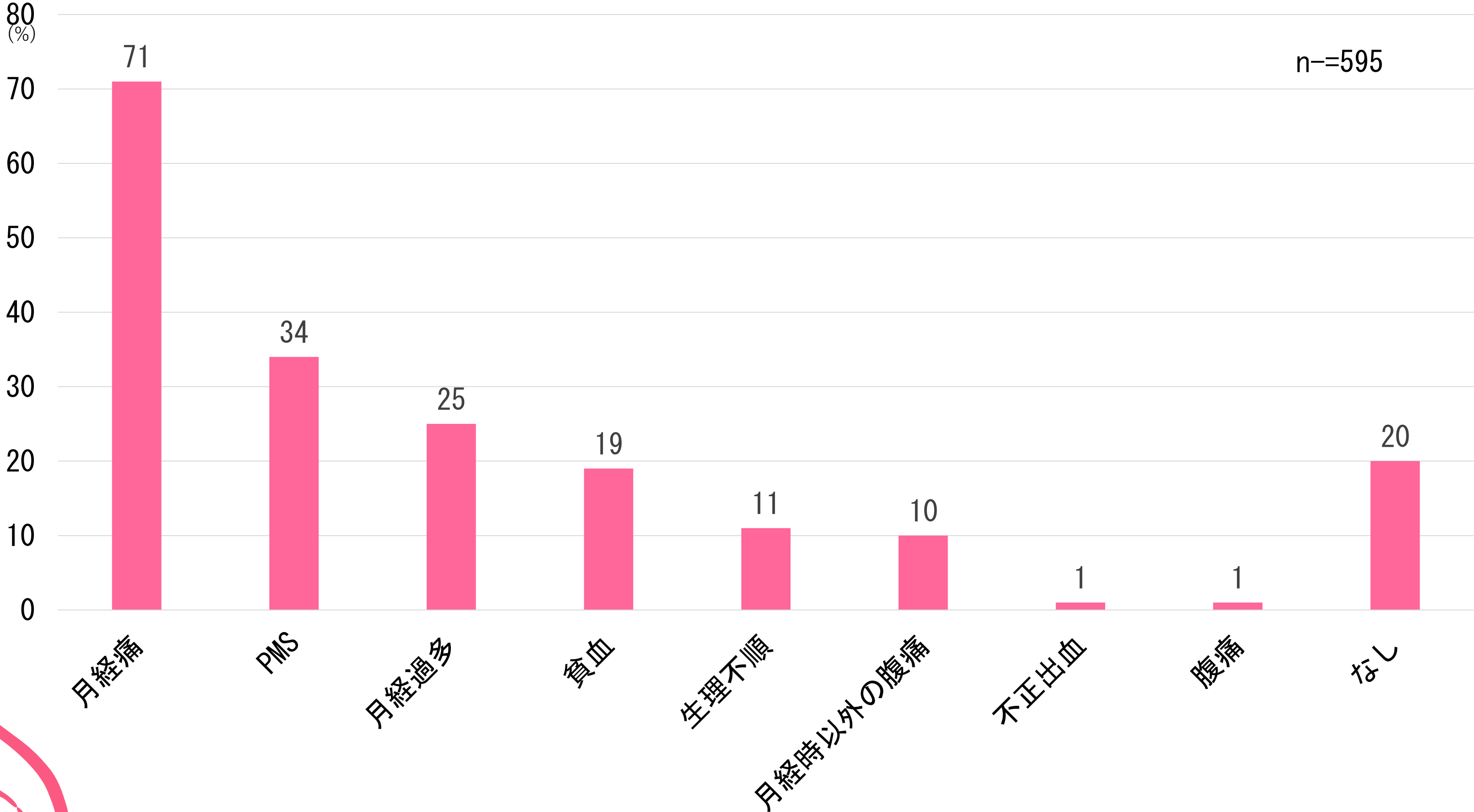
2. 現状分析

初潮年齢（100人中）



出典：ソフィ「はじめてのからだナビ」より作成

中高生女子の学業・運動に与える月経関連症状



出典：スポーツ庁委託業務(2016)「子供の体力向上課題対策プロジェクトより作成

生理痛、生理不順が症状となる病気



月経困難症

・ 機能的月経困難症
(原因疾患がない)

思春期～20歳台前半の若い女性が多い

・ 器質性月経困難症
(原因疾患がある)

20～30代がピーク

- ① 子宮内膜症
- ② 子宮腺筋症
- ③ 子宮筋腫

生理のある女性の10人に1人の割合で発症

※診断技術の向上により「骨盤痛のある思春期女子の19～73%に子宮内膜症を認めた」という報告があり、近年若い女性に子宮内膜症が増えている

現状分析①

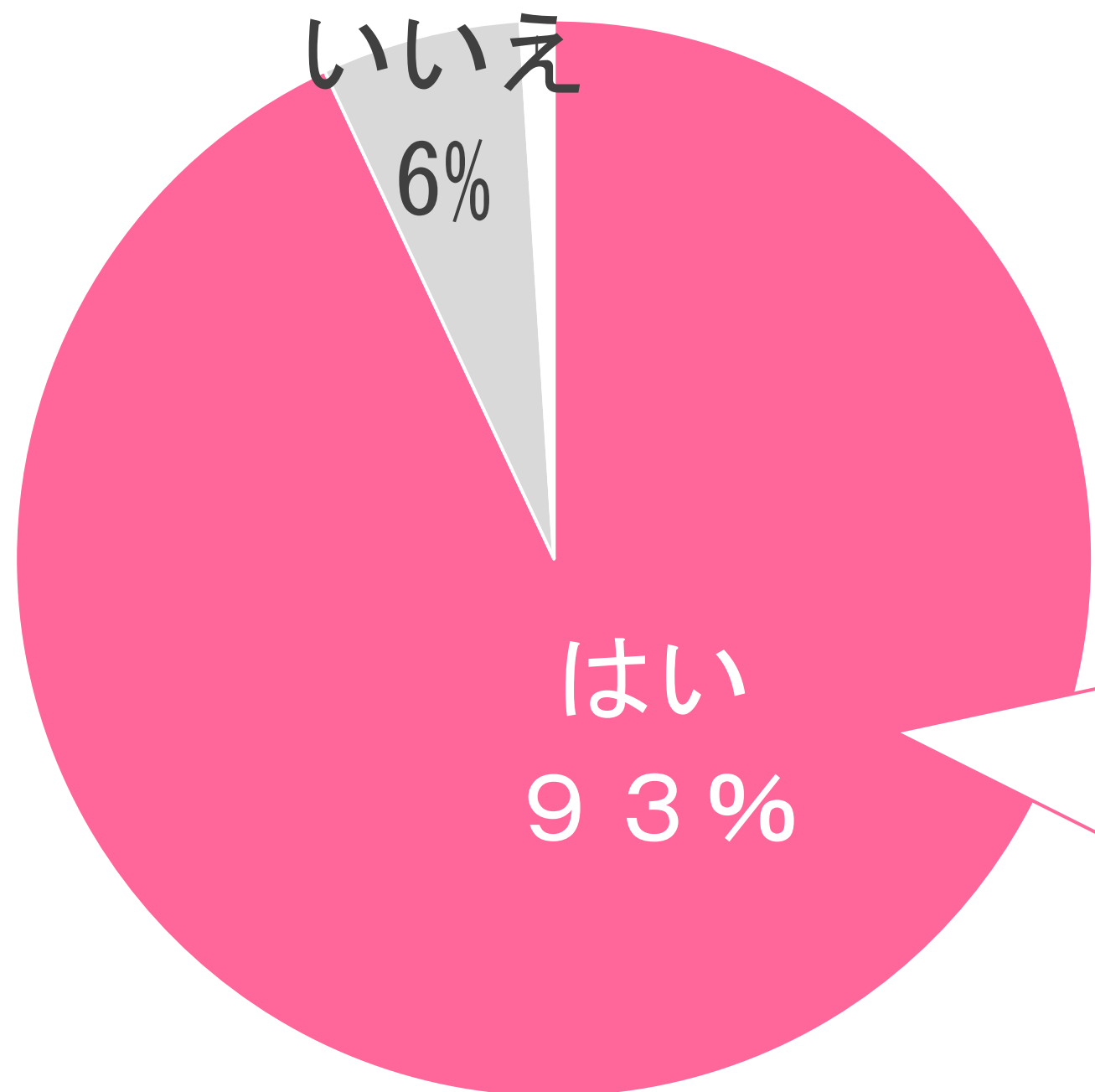
中学校入学時点で
月経を迎えている
生徒は約8割

月経痛が生徒の学業
やスポーツの集中力
に与える影響は、
世間のイメージより
もはるかに大きい

月経痛を症状とした
病気が隠れている
可能性があり、
治療を受けるべき人が
機会を逃しているかも
しれない

生理で学校を休みたいと思ったことはある？

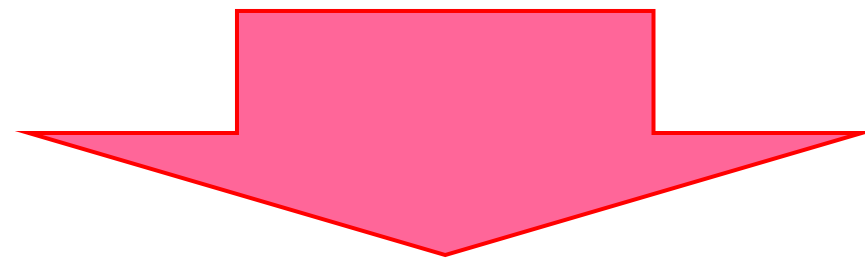
(小中高校、専門学校、大学 生理を経験する300名)



「はい」のうち3人に2人が
「休みたくても休めなかった」
と回答

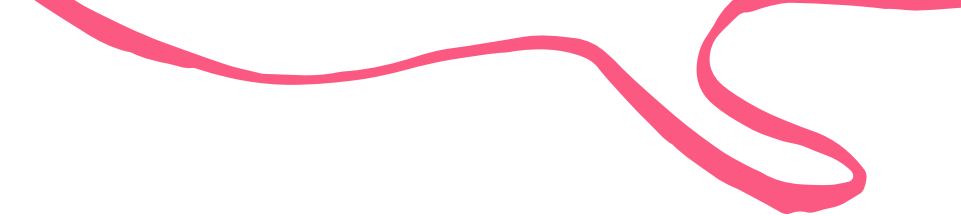
現状分析②

生理による心身の不調がありながらも
無理をして学校に行く生徒が多数いることがわかる！

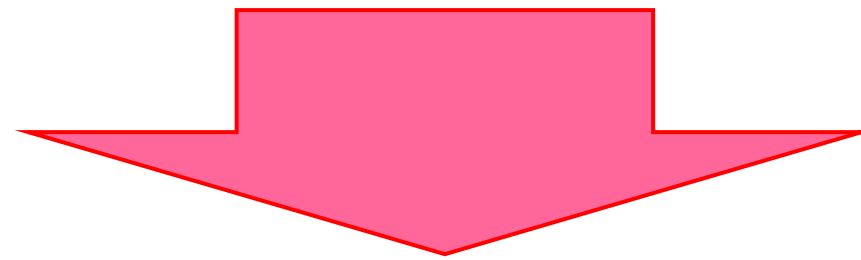


「内申点が気になる」
「生理が欠席の理由にはならないのではないか」
「授業を欠席できなかった」

3. 課題



生理による心身の不調を抱えた生徒が、成績の心配などを理由に無理をすることがないような環境を整える必要がある。



教育機関に**生理休暇制度**を導入

4. アンケート結果

「生理に関する意識調査」

対象：高校生 388人

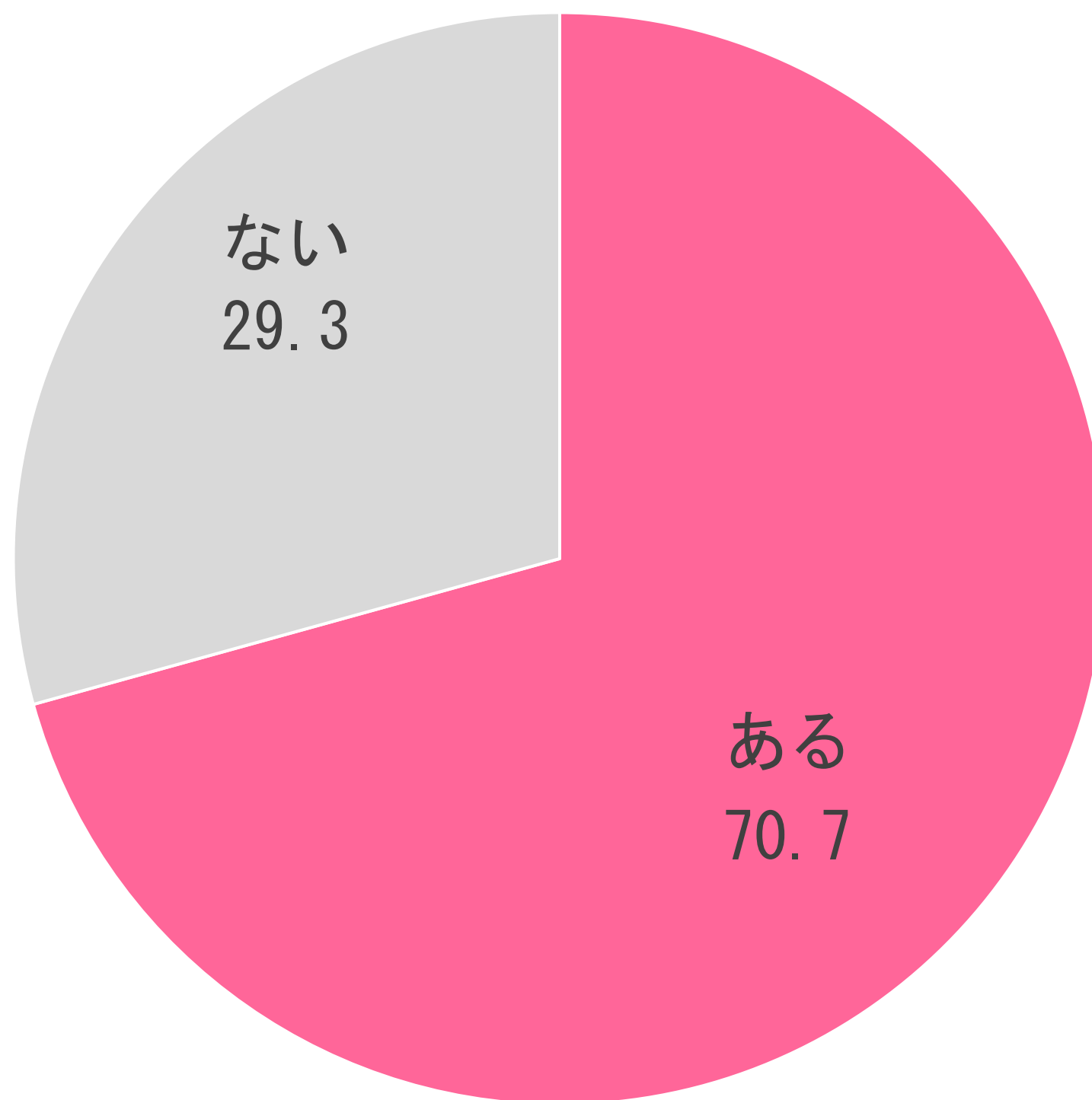
実施期間：2024年9月上旬から10月中旬

方法：Googleフォーム

《調査結果》

生理が原因で学校を休みたいと思ったことがある生徒

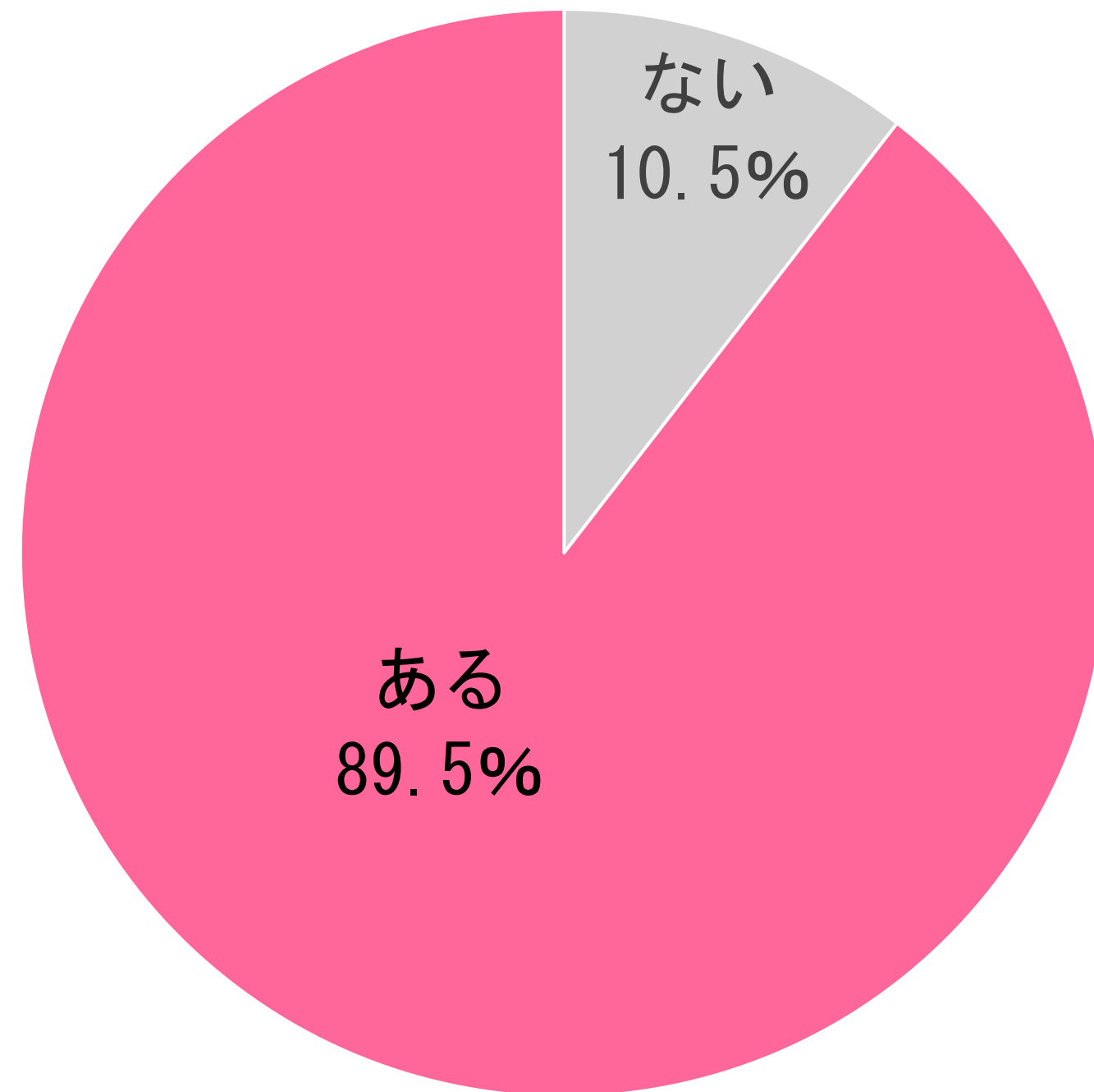
n=376





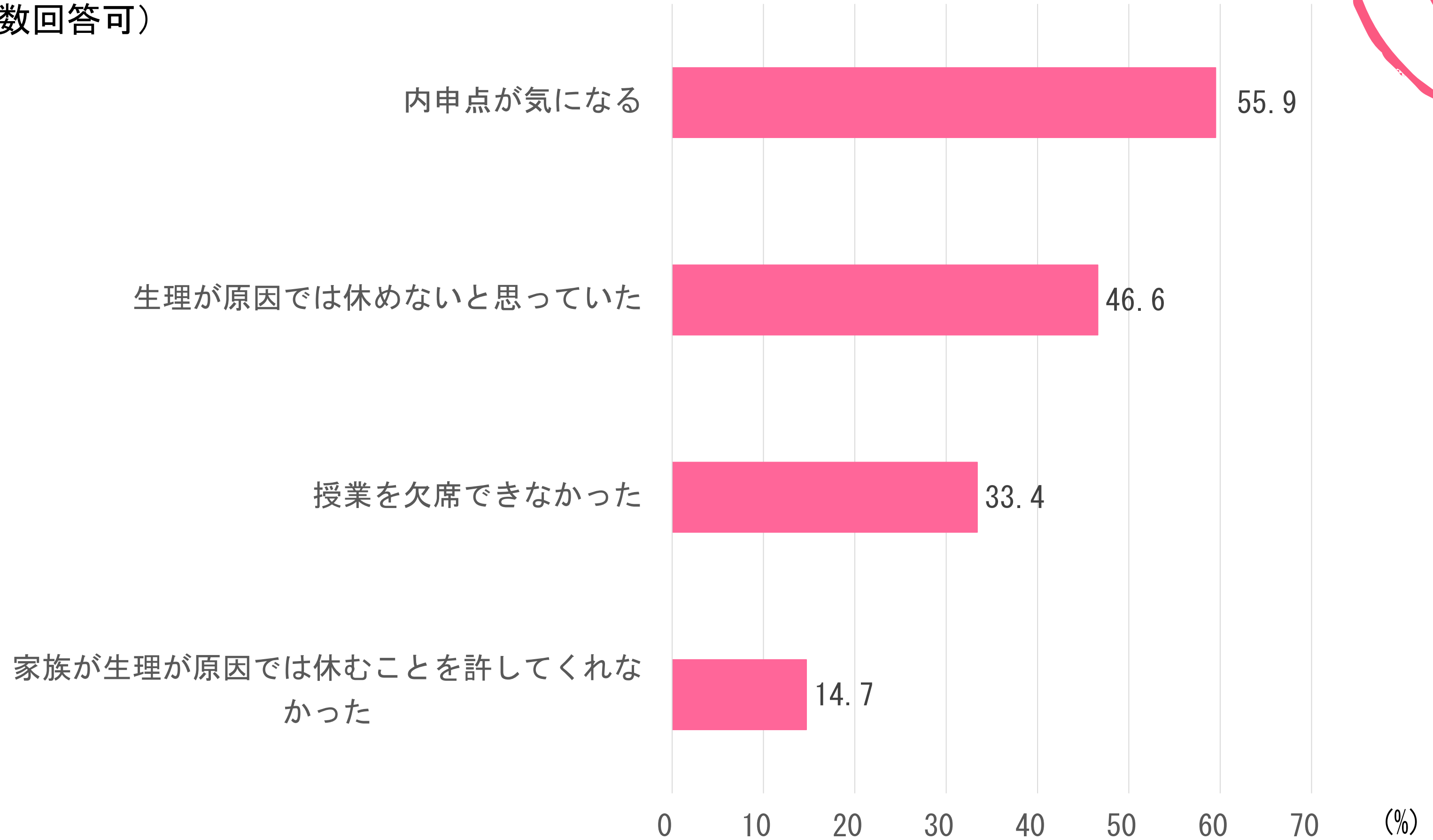
生理痛などの症状があるが、無理をして学校に行ったことがある生徒

n=266



無理をして学校に行った理由は…

n=238 (複数回答可)



アンケートで分かったこと①

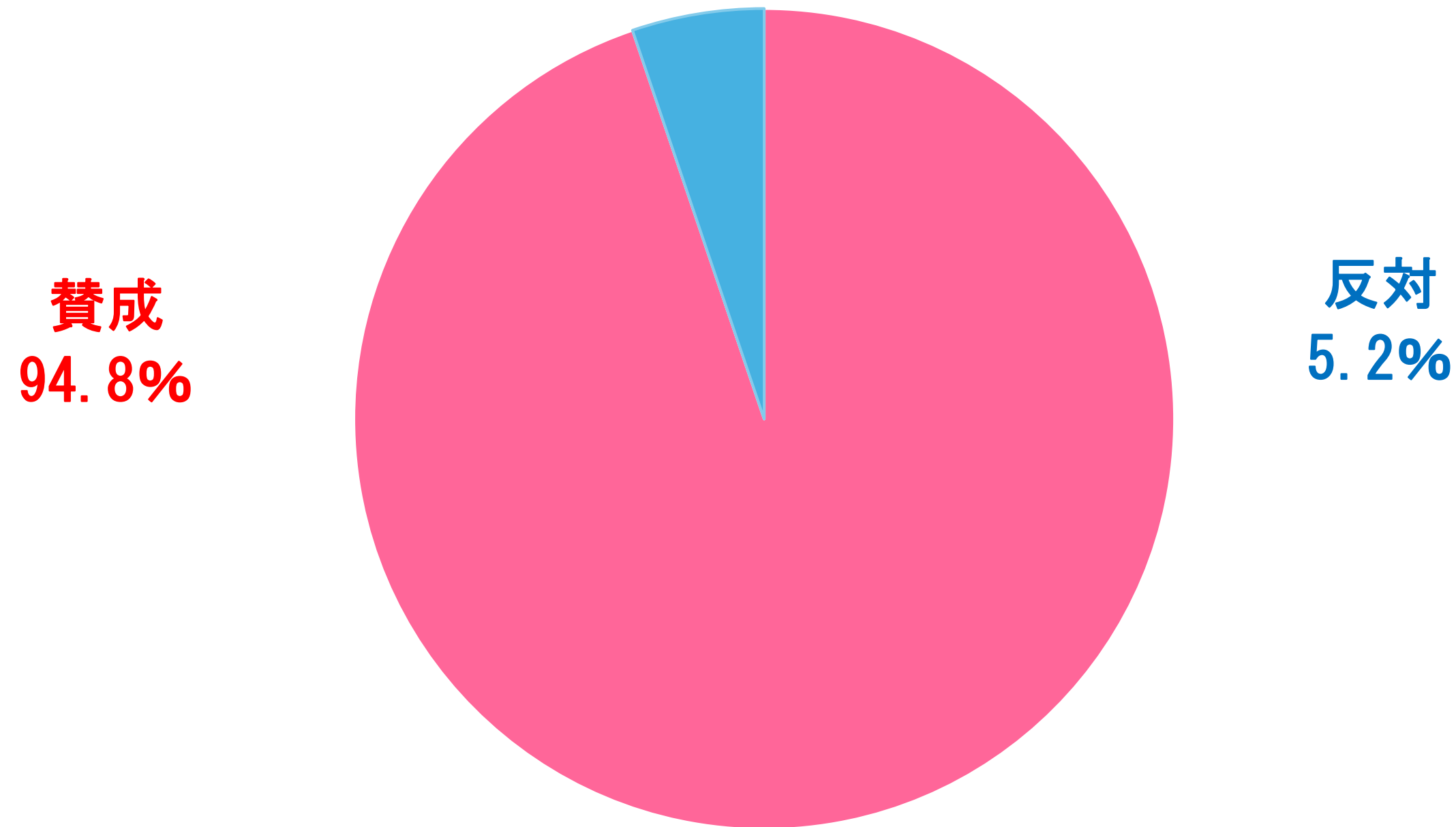
現在の女子高校生の中でも、生理に起因する症状により
学校を休みたくても休めない

内申点が気になる
授業を欠席できない

生理に起因する症状が
軽視される環境

生徒・学生の生理休暇制度導入についてどう思うか

n=388



賛成の理由

- ・我慢をする必要はない
- ・体調が悪化することを防ぐ

反対の理由

- ・女性の中でも個人差がある
- ・成績の付け方が難しくなる
- ・本当に生理のための休みか確認が困難



アンケートで分かったこと②

- ・ 現役高校生の中で、生理休暇を必要としている生徒が多数いる

【課題】

女性の中でも個人差がある

→ 本当に生理痛等がひどくて休んでいるのか確認が困難である

最終目標

「本人、男子生徒、教師など全ての人が理解できるような生理休暇の制度を作り、生理を経験する生徒や学生が、自分らしく生きることができるよう環境をつくる」

〈考慮すべき点〉

- ・ 男子生徒、教師からの理解
- ・ 生理を理由とした休みであるかの確認

5. 政策提言

1. 月経パスポート（ツキパス）の導入
2. ツキパス診療支援制度


「月経パスポート（ツキパス）」の導入案

【基本情報】

①公的証明書 ②受診履歴 ③教師との連絡ページ
以上3点を主にパスポートに記入予定

- 有効期限：6か月（専門家の方の助言を参考に設定）
- 医療機関の診断を受けることで使用可能に
（詳しい使用手順は後ほど）

5-1. ツキパスの概要



ツキパスとは

教育機関での生理休暇制度導入を実現するため、
その生徒が生理休暇が必要であることを示す
客観的な証明書

証明書の
役割

医師のサイン

受診履歴

教師との
連絡ページ

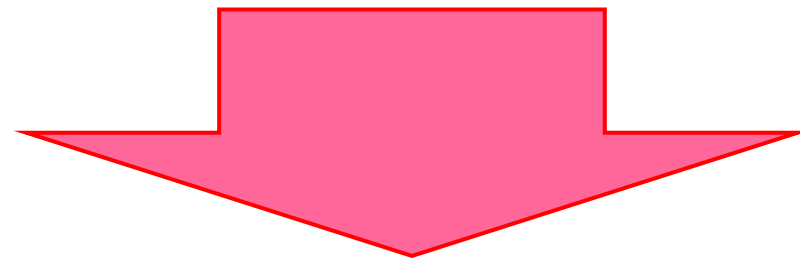
ツキパスを使うと…

- 課題等の代替措置を取る
- 自宅でリアルタイム授業を受ける
- 後日オンデマンド授業を受ける
- テストを休む場合、追試験を行う など

⇒ あくまでも「出席扱い」ではなく、
欠席によるマイナスの影響を減らすための措置

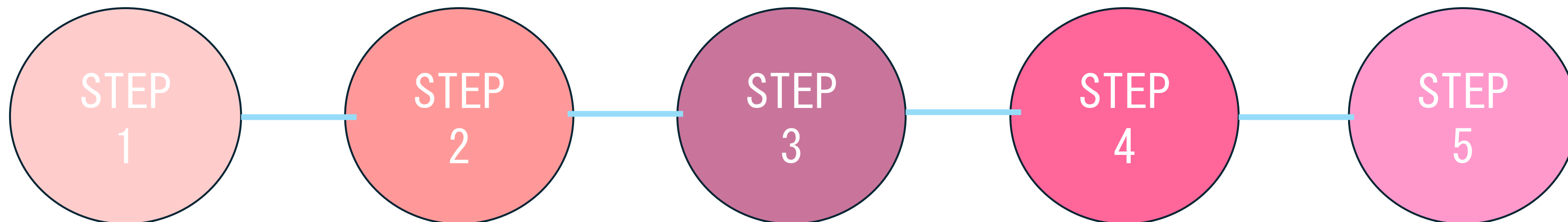
ツキパスを使うと…

長期的に見ると、中学生以上の
女子生徒が持つことが当たり前



生理に対する意識改革につながる

使用手順



ツキパスを
女子生徒
全員に配布

ツキパスに
ついての
授業実施

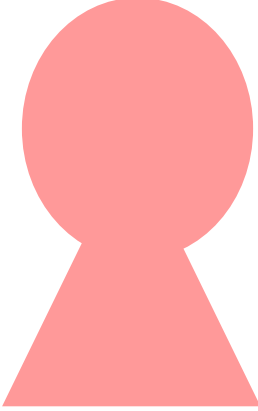
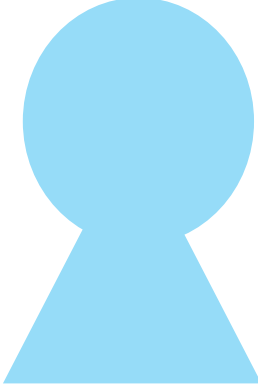
医療機関を
受診

学校に欠席の
連絡をし、
ツキパス使用
の旨を伝える

次回登校時、
教員にサイン
をもらう

中学1年生の全生徒を対象とし、
ツキパスの役割や使用方法を学ぶ
⇒すべての生徒から生理休暇への理解を得る
ツキパスの正しい使い方を理解してもらう
生理に対して正しい知識を持ち、意識を変える

ツキパス使用の例

	 中学校入学前に 月経を迎えたAさん	 中学1年の9月に 月経を迎えたBさん
初回受診月	4月	9月
次回受診月	10月	3月

5-2. ツキパス診療支援制度



ツキパス診療支援制度

女子生徒が月経に伴う症状を我慢せず、
健康状態を確認するため、毎年2回までの診療費
(治療費を除く)を公費負担とし、原則的に診療を
受けることを促す制度である。



ツキパス診療支援制度

【目的】

- ・ 公費で負担し、経済的な負担を軽減することで、費用への不安を感じることなく、安心して利用できるようにする
- ・ 女子生徒が早期に医療機関を受診し、治療に一番適切な時期を逃さないようにする

公費負担費用

コストの構成:

• 初診料 :

保険適用後の負担額:

1回あたり約 900円

• 診断書 :

一枚あたりのコスト: 3300円

• 京都市の女子中高生の人数:

中学校: 12,861人

総合支援学校: 82人

高校: 2,706人

高等専門学校: 215人

合計: $12,861 + 82 + 2,706 + 215$
= 15,864人

⇒ 毎年2回受診する場合

年間費用合計: $(900+3,300) \times 2 \times 15,864 = 133,256,000$ 円

※京都市 令和6年度予算 1,854,703,000,000円⇒約0.01%

京都市教育委員会

115,921,000,000円⇒約0.1%

流れ：診察料→京都市公費負担

1

女子生徒が受診時に「ツキパス」を提示

2

医療機関はツキパス情報を確認し、受診記録をシステムに入力

3

受診費用は会計で免除、生徒は自己負担なしで診察

4

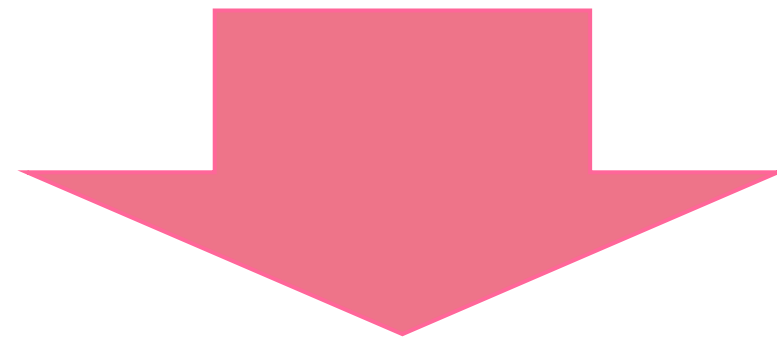
医療機関は月ごとに受診者の人数と金額を自治体に報告

5

自治体が医療機関に受診料を支払う

まとめ

ツキパスを導入し、学校での生理休暇制度が実現



生理を経験する生徒の健康を守り、自分らしく
生きることができ環境を実現する

参考文献

NHK (2021) 「生理痛で学校に行きたくない 休みたくても休めない学生たちの実情」

<https://www.nhk.or.jp/minplus/0020/topic034.html> (2024年12月8日閲覧)

京都市 (2024) 「教育委員会の予算の概要」

https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/cmsfiles/contents/0000323/323068/07_kyouiku.pdf (2024年12月8日閲覧)

京都市 (2024) 「令和6年度予算（第二次編成後）について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-2-2-0-0-0-0-0-0-0.html> (2024年12月8日閲覧)

京都市教育委員会事務局 (2024) 「教育調査統計」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/cmsfiles/contents/0000171/171194/r06sokuhou.pdf> (2024年11月19日閲覧)

日本産科婦人科学会 「子宮内膜症」 <https://www.jsog.or.jp/citizen/5712/> (2024年10月18日閲覧)

日本新薬株式会社 「思春期の生理痛」 <https://seiritsu.jp/puberty/> (2024年10月25日閲覧)

日本産科婦人科医会 「(1) 月経困難症」 [https://www.jaog.or.jp/note/\(1\)月経困難症/](https://www.jaog.or.jp/note/(1)月経困難症/) (2024年10月25日閲覧)

八田真理子コラム 「生理痛を我慢していませんか？10代から発症する子宮内膜症」

https://www.hokende.com/columns/iccyouisseki/female_doctor/005 (2024年10月25日閲覧)